

俺は幌を掛けさせて、腹が無性に減つてゐると氣付いた。

屋臺店の蕎麥屋が居つた。

俺は車の中でソバを食つた。

でも一番早い坂神に乗つて芦屋で降りた。

俺は大阪へもコツソリ行かなければならないと思つたのだ。

だから芦屋驛へ行つたら、切符を見て切符切りが怪しんだ。

大分明るくなつてゐた。

小さな新らしい驛で角火鉢に火を起してゐる驛員が一人きりだ。

昨夜の報告があつたかも知れない。精神病者が一人轢死しやしなかつたか、鐵道省でも心配な

んだ、俺は刑事を甘くまいた積りでゐた。

寒いので這入り込んで俺はブル／＼顔を乍ら火鉢にあたらしてくれとせがんだ。

汽車が來た。

窓から首を出して乗客が見てゐる。